



第 145 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

2026 年 1 月 10 日発行
発行責任者 山口 謙二
編集責任者 片平 るみ
E-mail: oyamasahiro1130@gmail.com
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局 大矢 真弘 Tel 042-475-8532

会長年頭挨拶

東久留米稲門会会長 山口 謙二

明けましておめでとうございます。会員の皆様は如何に新年をお迎えになられたでしょうか。猛暑と自然災害の多い年が続いていますが、今年は穏やかな気象であってもらいたいと願います。

私は近隣稲門会の方々とお互いの会の状況を語り合う機会が多いのですが、その際異口同音に高齢化の進行とそれに伴う会の運営の難しさ・厳しさの認識を共有し合います。私は当会の活動のパワーの根源は部会活動であると考えています。会員各位が各々の趣味趣向に応じて部会に参加し、その活動を通じて会の設立目的の「会員相互の親睦と啓発をはかる」事が実現出来れば素晴らしいと思います。各々の会の運営のご苦勞を伺う事も多いのですが、部会長の皆様の日ごろのご努力には敬意を表します。今後も引き続き宜しくお願い申し上げます。

今年は丙午（ひのえうま）年で、「勢いとエネルギーに満ちて活動的になる年」とされていますが、会員の皆様が健康で活気に満ちた年をお過ごしになられるよう心より祈念致します。



会の告知板

【部会予定】

1 月 17 日（土）	ニューイヤーコンサート	15:00	練馬文化センター
1 月 24 日（土）	新年会	13:30	成美教育文化会館
2 月 01 日（日）	役員会	16:00	生涯学習センター
2 月 26 日（木）	映画鑑賞会「メリーポピンズ」	14:00	成美教育文化会館
4 月 05 日（日）	臨時役員会	16:00	生涯学習センター
4 月 18 日（土）	第 32 回定時総会	14:00	成美教育文化会館

【大学・校友会関係】

3 月 07 日（土）	春季幹事長・事務局長会議	早稲田大学	大矢
3 月 07 日（土）	春季代議員会	早稲田大学	有賀 小山田

<各部会定例活動一覧>

部 会	1 月				2 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性カーク	14	木	10:00	中央町地区センター	12	木	10:00	中央町地区センター
書 道	11	日	13:00	八幡町地区センター	8	日	13:00	八幡町地区センター
俳 句	18	日	10:00	生涯学習センター	15	日	10:00	生涯学習センター
囲 碁	25	日	13:00	成美教育文化会館	22	日	13:00	成美教育文化会館
太極拳	17	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	7	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	24	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	14	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	31	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	28	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター
ソフトボール	休会				休会			
ボッチャ	10	土	13:00~15:30	東久留米スポーツセンター	2	月	11:20-13:30	東久留米スポーツセンター
	19	月	11:20~13:30	東久留米スポーツセンター	14	土	13:00~15:30	東久留米スポーツセンター
コントラクト	9	金	14:30-17:00	東部地域センター	6	金	14:30-17:00	東部地域センター
ブリッジ	23	金	15:50-18:45	生涯学習センター	20	金	15:50~18:45	生涯学習センター

会の報告

◎第 4 回役員会報告

【大学・校友会関係】

- (1) 三多摩支部検討委員会 12/20 (土) Big Box 東大和 大矢
- (2) 練馬稲門会ニューイヤーコンサート 2026 年 1 月 17 日 (土) 練馬文化センター
- (3) 幹事長・事務局長会 3/7 (土) 早稲田大学 大矢
- (4) 春季代議員会 3/7 (土) 早稲田大学 有賀・小山田

◎役員会報告

2025 年度第 4 回役員会が 12 月 7 日 (日) 16 時~ 中央町地区センターにて開催された。

<議事録概要>

以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1 秋の懇親会の振り返り

会場より音と声のクレームあり。今後は音楽が流れる場合、1 階のプレールームギャラリーにての開催とする。

2 会長・部会長・役員忘年会

- (1) 日 時 : 12 月 7 日 (日) 17:00~ (2) 場 所 : 「や台ずし」
- (3) 会 費 : 4000 円 (4) 参加予定: 25 名

3 新年会

- (1) 日 時 : 2026 年 1 月 24 日 (土) 13:30~
- (2) 場 所 : 成美教育会館 3 階 大研修室 (3) 会費 : 4000 円
- (4) その他 : ビンゴの景品として「商品券」用意

4 2026 年度 第 32 回定時総会

- (1) 日 時 : 2026 年 4 月 18 日 (土)
- (2) 場 所 : 成美教育会館 1 階ギャラリー
- (3) 講演者 : 西谷公明氏 (エコノミスト、元ロシアトヨタ社長)

演題「わが体験的ロシア・ウクライナ論」(未定)

(4) その他 : 50代～70代の校友にも案内する。

(5) 事業計画や予算等の検討会 : 2026年1月中旬頃開催予定。

5 映画鑑賞会

*2026年2/26(木)「メリーポピンズ」、5/28(木)、9/25(金)、11/26(木)の予定。

6 広報関係

(1) 東稲ニューズ記事の募集、印刷日時等

原稿締切: 12月19日(金)

印刷日 : 1月7日(水) 15時～ 生涯学習センター 印刷室
16時～ 生涯学習センター

*チラシは映画とグルメ会、ウーキングが追加の可能性もあり。

7 今後の役員会

2026年2月1日(日)・4月5日(日)・6月7日(日)・8月2日(日)・10月4日(日)

12月6日(日) *会場の都合等で変更の可能性もあり。

8 サークル・部会関係

*ウーキング & 山歩きの件 2026年3月24日(火) 花見を開催。担当: 別処・山口・大矢

1月の東稲ニューズで日程等の連絡、3月にチラシを同封し募集する。

*マクカップの会の件

國米氏より、2026年5月9日(土)に実施予定とのこと。<3月の東稲ニューズで案内>

大矢 真弘 記

◎23区・三多摩合同会長懇話会報告

2025年11月29日(土) 早稲田大学26号館大隈記念タワー15F「森の風」で開催された題記の会の概要を報告します。この会は東京23区支部と三多摩支部の会長が毎年一同に会して交流することが目的で、各々の支部の活動報告と新任会長の紹介がなされます。堅苦しい雰囲気はなく、三多摩の会長とは会う機会が多いのですが、23区の方々とは接する場が少ないので知り合うには良い会です。私は初めて大隈記念タワーに入りましたが、「森の風」からの景観は中々のものです。私が学生の頃の廃墟のような「学生会館」が見事に生まれ変わった姿に驚きました。立派な建物です、皆様も機会があれば是非。



山口謙二 記

◎2025年商議員フォーラム報告

2025年12月6日(土) 開催された題記の概要を報告します。田中総長挨拶は、2032年の創立150周年に向けての抱負が例によって熱く語られました。2026年9月20日に任期満了となる現総長の後任選出方法が従来の「総長選挙」から「総長候補者選挙」へと制度変更されますが、基本的な手続きには大きな変更はないとの事です。学事報告は野球部の小宮山監督。来年のアメリカ遠征について、過去の遠征後のリーグ戦での成果の説明とクラウドファンディングでの支援要請。質疑応答で面白い遣り取り。

Q「知り合いの中3の男の子が将来早稲田の野球部に入りたいと言っていますが何か良い方法があれば教えて下さい」 A「しっかり勉強

するように伝えて下さい」(小宮山氏 「私は二年浪人しましたが、勉強して損になる事一つありませんでした」と付け加えていました。) 大隈講堂での議事後、リーガロイヤルホテルに場所を移して1時間程の懇親会を経て閉会。



山口 謙二 記

◎秋の懇親会報告

恒例の秋の懇親会が11月8日（土）13時30分より成美教育文化会館にて36名の参加者で行われました。今回はマリンバ&サクソ奏者の「ポムボッケ」のお二人をお迎えし、応援歌「紺碧の空」や「恋のバカンス」、「時代」、「見上げてごらん夜の星を」等、懐かしい昭和歌謡等を演奏していただきました。その後、山口会長からのご挨拶と乾杯の音頭でいつもの楽しい懇親会が始まりました。昨年も持参していただいた金子氏作製の「きやらぶき」と「きんつば」、平山元会長からは自宅で取れた「柿」、山口会長と神宮氏からの赤ワインとシャンパンも美味しくいただきました。この場をお借りし御礼申し上げます。また、山縣氏には安次嶺氏持参のフルートの演奏も軽くご披露いただき、新年会には本格的に演奏していただけたとのことでした。さすが稲門会の皆さんは芸達者で次の新年会も楽しみです。新年会は東稲ニュース11月号でお知らせしておりますが、1月24日（土）13時30分から開催されますので、ぜひお時間を作り、参加していただくことを期待しております。よろしくお願い申し上げます。



大矢 真弘 記

<秋の懇親会 特別会計 収支報告>

11月8日（土）開催の秋の懇親会の収支を報告いたします。

【収入】 会費：147,000円

〈会費36名×4,000円+欠席者1名×2,000円+カンパ1,000円〉

【支出】 余興出演者謝礼：2,000円

〈10,000円×2名〉

飲食費：122,612円 会場、備品費、他：8,500円

【収支】 4,112円の不足・・・「イベント補助金」から補填しました。

会計係：金子 孝司 記

部会だより 【活動報告】

<ゴルフコンペ>

2025. 11. 23

（文責）金子孝司

秋の三田会との合同コンペ

急に涼しくなり秋を通り越して冬を感じる11月13日、熊谷ゴルフクラブにて開催しました。もともとは稲門会単独でのコンペでしたが三田会と日にち、場所も重なった為と参加者が少ないので、合同での開催となりました。稲門会が8名、三田会5名の13名の参加と寂しいコンペでした。難しいセッティングに皆さん苦勞し三田会の種田さんがただ一人90台でした。優勝は稲門会の平山さん、準優勝は金子でした。3位はベスグロの種田さんでした。平山さんは今年2回目の優勝でした。終了後は東久留米に戻り有志にて懇親会で盛り上がりしました。

稲門会、三田会共に参加者が減り、開催が危ぶまれる状況となっています。皆様の参加をお待ちいたします。

○優勝者コメント

冷え込みが紅葉を促し美しいが難コースの熊谷 GC、あみだくじによる組み合わせで名人の上原さん、三田会山田さん、中川さんの4サム。最近が高齢を良いことにシニアティでのプレイ、前半はまずまずも後半はOB2発の大叩きこれがハンデホールとなり HDCP27.6 で思いもかけず優勝できました。天候と同伴競技者に恵まれおかげ様で至福の一日となりました。ありがとう。

(平山 正経 : 65 政経)



<スポーツ観戦部会>

今期の早稲田は近年になく充実した戦力を擁している、1年生から早稲田 A チームのレギュラーとして活躍しているキャプテン野中健吾を中心に、大学生ながら全日本のメンバーに選ばれヨーロッパ遠征帰りの3年生矢崎由高、1年生から早稲田の10番(so)を背負った才能溢れるキッカー服部亮太、同じく1年生からレギュラーで走りまくるトライゲッター田中健想、同じく1年生からフランカーとして攻守の要を担う城央祐の2年生トリオ。そして明治や帝京の強力なスクラムに耐えるだけでなく押し返す力のあるフォワード陣、前田麟太郎(2年)、清水謙伸(3年)、杉本安伊朗(3年)。この若い力をサポートする4年生の栗飯原謙、糸瀬真周、栗田文介、田中勇成、福島秀法、山口湧太郎。試合では後半のフレッシュ交代メンバー1年生の平山風希、川端隆馬。これだけの才能に溢れた若手メンバーと学生最後の試合に望む4年生達。このメンバーで優勝できなければ、暫く早稲田に優勝チャンスはなくなるだろう。(無論、彼等ベンチメンバー23名以外の104名の部員選手を含む)私はそんな思いで対抗戦開幕を待った。



9月より対抗戦が始まり、早稲田は充実した戦力で危なげ無く勝ち進んだ。しかし後半の帝京戦(20-

25)、明治戦(19-25)と僅差で負けた。11月2日の帝京戦は早稲田に凡ミスが続き仕方ない敗戦だと無理やり気持ちを納得させながら、観戦メンバーと愚痴りっぱなしで秩父宮から帰った。12月7日優勝の懸かったここの戦い明治戦で全く同じ事が起こった。逆転に次ぐ逆転で試合としては好勝負のゲームで大変面白い内容ではあったが1トライ及ばず早稲田は、又負けた。観戦応援組は心深く折れ、愚痴る気力も無く重い足取りで国立から帰った。VTRで解説者が言っていた「最後は明治の方の勝ちたい気持ちが優っていたのですね。」と言うことにつきるのだと思う。明治の攻撃をタックルで決めきれない早稲田に対し、明治はここぞの場面でタックルを決め早稲田の攻撃をくい止めた。ラグビーとは体格に関わらず相手に対して身体を投げ打ってタックルし、倒す格闘技でもある。技術も大切だが我が身を捨てて飛び込む勇気と精神力が必要なスポーツでもある、0,1秒の躊躇いが勝敗を分ける。

この結果、対抗戦では3位に終わったが、引き続きおこなわれる大学選手権は下位から勝ち上がり12月20日に関西のNo1、絶対王者の天理大学を負かしている。残すは新年1月2日の準決勝で帝京に勝てば、1月11日に決勝で(明治vs京産大学の勝者)と戦う。要は、帝京と明治(京産大には勝てる?!)に雪辱すれば良いのだ。決勝の日、我等が早稲田は日本一になった時だけ歌うことが出来る第二部歌「荒ぶる」を国立競技場で声高らかに歌っている筈だ。

毎年の事だがこの原稿を書いている12月24日時点では新年の結果が判っていない。皆さんのお手元に東稲ニュースが届く頃、私の思い通り(妄想)になっていなければ、又、あのラグビー馬鹿が世迷言を垂れていたのだと笑い飛ばして下さい。

小野 泰右 記

<俳句部会>

第303回 11月20日(木)

兼題： 大根・未来、将来 他当季雑詠二句

<高点句> 該当なし

<自選一句>

古希にても叶う夢あり返り花	三浦洋子
部屋にはバッハ天空には寒昂	片平るみ
百年後新婚旅行は春の月	川島知子
朝寒や湯呑み茶碗の掌の温み	上原徹也
朝寒や犬は我が道ぐんぐんと	橘優治
お袋の風呂吹き大根角とれて	馬場清彦

第304回 12月23日(火)

兼題： 落花生・化粧を感じる句 他当季雑詠二句

<高点句>

餅つきの杵三本に舞うコネ手	馬場清彦
頬撫でて閉ぢる棺や虎落笛	片平るみ
<自選一句>	
山茶花のはらりほろりと散りて咲く	橘優治
吾は俳句夫はウクレレ冬うらら	三浦洋子
山茶花や散り初めてまた咲きつなぎ	上原徹也
山茶花や年に一度の里帰り	川島知子
山茶花の花踏みかねて遠まわり	横田慧子

片平 るみ 記

<カラオケ部会>

数日前から、本格的な冬の近さが感じられる寒さとなりましたが、今回の「冬のカラオケを楽しむ会」は、始めからパワー全開の熱気でした。

渡辺先輩のオープニングの「チャンチキおけさ」は、全員の歌詞通りのお皿を叩いての伴奏で1曲目から大盛り上がり。その後も盛況は最後まで順調に続き、一人3曲の予定がほとんどの方が4曲を歌い切りました。

そして今回は長束先輩が祥子夫人を同伴して参加してくれました。長束先輩は1曲目の「酒よ」を祥子夫人と一緒に熱唱、お二人の仲睦まじさが感じられる一齣でした。これを見た、私の前に居た山口会長が「これも、有りだな」とポツリと言、山口会長の言葉の真意は定かではありませんが、察するに私も会員の会のイベント・各部会への夫婦同伴が増え、会の活性化、夫婦円満に繋がれば最高だと思います。

次の「夏のカラオケを楽しむ会」の開催は令和8年7月28日（火）を予定しております、予定の調整をお願いします。

●参加者の歌唱曲（敬称略・歌唱順）は以下の通りです。

オープニング 渡辺真司 チャンチキおけさ（三波春夫）

安次嶺暁	①裏町人生	②妻恋道中	③鴛鴦道中	④並木の雨
後藤秀作	①酔歌	②笑ったり転んだり	③恋唄綴り	④まず一献
高橋哲男	①舟唄	②昴	③いい日旅立ち	④愛燦燦
山口謙二	①ふりむかないで	②そして神戸	③小樽のひとよ	④ヘッドライト
長束輝夫	①酒よ	②夢芝居	③上を向いて歩こう	④古城
長束祥子	①ラブ・イズ・オーヴァー	②異邦人	③津軽海峡冬景色	
青木規宜	①氷雨	②花	③夢ん中	④道化師のソネット
馬場清彦	①ある女の詩	②酔いどれ	③望郷酒場	④うしろ姿（矢吹健）
高柳康夫	①雨の中の二人	②熱き心に	③ブルースカイズ	④涙をふいて
帆角信美	①北の宿から	②星の流れに	③雪国	
渡辺真司	①素敵なランデブー	②ろくでなし	③星屑の町	④勝手にしゃがれ
エンディング		（全員）早稲田大学校歌		

後藤 秀作 記



<女性サークル・ランチ会>

女性部会において 恒例の暮れのお食事会を12月11日 ひばりヶ丘駅近くの「ココット」というロールキャベツで有名なお店で開きました。

古くからご最員にされていらっしゃるメンバーも「より美味しくなった」とご満足されていました。当日は、日頃あまりお会いすることの無い方々も含めて11名のご参加となり 楽しく会食出来ました。

坂本 洋子 記



<ソフトボール部会報告>

もう 50 年近く昔の話、夕暮れが近づく頃、佐藤一郎少年は必死に白球を追っていました。場所は小学校の校庭。当時は放課後の遊びと言えば、ソフトボールかドッチボールくらいしかなく、学年関係なくみんなで遊んでいました。サッカーというスポーツは知っていましたが、今と比べれば人気もなく誰もやっていませんでした。当然テレビゲームなんかもありませんから、放課後は校庭か空き地で遊ぶしかありません。それでも飽きずに毎日元気に動き回っていた当時を懐かしく思い出します。

そこそこ、運動神経が良かった私は、その後中学校でも野球部に入部します。当時から今と変わらない身長だったので、守備位置はファースト、足も速かったので 1 番バッターを任されていました。練習はうさぎ跳びをやったり、水が飲めなかったり、今から考えれば根性論で理不尽だったと思いますが、夏休みの練習後にネット裏で、みんなで飲んだスプライトの美味しさは今でも忘れられません。

さて、高校に入ると遠距離通学だったため運動部は諦めましたが、草野球はたまにやっていました。その頃少し肩を痛めて野球はやめてしまいましたが、再び野球に接することになったのは息子が小学校の野球クラブに入ってからでした。野球クラブは保護者も練習に参加するのですが、その時キャッチボールをしてみて驚きました。全然投げられないのです。肩は治って



いるのに、トラウマになっているのか無意識に肩をかばってしまうのか、全然思いつき投げられませんか。考えてみれば、日常生活でこの『投げる』という行為はあまりしません。今の子供たちも投げることが不得意だと聞いたことがあります。

こんな状態なので練習では皆さんにご迷惑をかけっぱなしですが、皆さん温かく向かい入れてくださいます。仕事の都合でなかなか練習に参加できていませんが、いつかはきちんと投げられるようになると思いますので、これからもよろしく願いいたします。また多くの方のご入会もお待ちしています。

追伸 この原稿を書いている、ソフトボール部会の仲間だった東海さんの突然の訃報に接しました。よくサードを守っていた東海さんの雄姿をもう見るできないと思うと残念でなりません。故人のご冥福を心よりお祈りいたします。

佐藤一郎 記

＜ボッチャ部会＞

第6回くるめカップボッチャ大会兼東京都市町村大会予選会

10月25日『第6回くるめカップボッチャ大会』兼東京都市町村大会予選が開催され、出場チームが20チームの中で東久留米稲門会からも3チームが出場をしました。

出場チーム

坊ちゃんズA 川瀬、渡辺真司、坂井

坊ちゃんズB 高橋、小山田朋樹、新井

坊ちゃんズC 松崎洋子、渡辺昌子、小山田通子

予選は、各3人4チーム5リーグの総当りで、予選の結果で決勝戦のトーナメントに進みます。予選リーグ結果予選1・2位は、決勝トーナメント、予選3・4位は、3・4位だけのトーナメントに進みます。予選の結果、坊ちゃんズAとBは決勝トーナメントに進みましたが、坊ちゃんズAとBは、決勝トーナメント第1回戦で敗退、3・4位だけのトーナメントに進んだ坊ちゃんズCも第1回戦敗退と残念な結果となりました。

優勝は「そらまめ」、準優勝は「アマチャンズ」と家族のチームで優勝チームは母親と娘のチームで小学生は全国レベルで今回大会のMVPと思います。東京都市町村大会での活躍を期待します。若い世代は強いですが、今回の経験を活かして技術向上を目指して参ります。

東久留米稲門会のなかで東久留米市並びに他の大会に出場できる部会は少ないと思います。皆さん、ボッチャ部会に入会して大会に出場してみませんか。

高橋 哲男 記

＜書道展＞

第13回作品展は11月2日から4日までスペース105で開催した入口には真司氏の隸書の看板が人目を惹く、部員10名は春先から構想を練り書き込みを続けた渾身の作品27点が展示された。中でも哲男、昇氏は条幅は教えていないにも拘らず試行錯誤しつつ各2点を仕上げた。作品は粗野であるも今後が楽しみである。

平山 十方 記

書道部へ入会をして2年は経過しましたが、書について少しずつ理解できてきたなかでまずは挑戦してみることに、及び平山先生の熱心な指導と諸先輩もこの時期に半切を展示していましたので半切3枚に取組みました。作品については、手元にある書聖や大久保のキョー和で見当たらず、池袋のジュンク堂で川邊尚風著「美しい条幅の手本」より、李白、百楽天、柳宗元の漢詩を選定しました。但しお手本の字体が難しく三体字典により自分で書ける字体に変更して練習し提出をしました。

提出時も公私多忙で緊張感もあり、三作品提出について多かったと反省もしたことがありました。苦勞をしましたが、今考えると貴重な体験になりました。

前回の作品展では、富士山駅の改札口を出たところでしたが、今回は登山口にたどり着いたかなと思います。これからも道に迷わないよう歩んで行きたいです。

高橋 哲男 記

書道部に参加させて頂いてから早 16 年がたち、月日のわりに一向に上手にならない自分に情けない
思いと、自分の練習不足に忸怩たる思いを抱き、今回の作品展用の書作に臨みました。最近、書を書き
始めると不思議なことに雑念がさり、心穏やかに時間の立つのも忘れて集中している自分に気付き驚く
事があります。何事につけ散漫になり勝ちな自分にとって、素晴らしい時間を与えてくれた書道、指
導頂いた武藤、平山両師匠に心より感謝しています。

小野 泰右 記



第8回の書道展より参加させていただき、書道部の活動も11年となりました。今回からお手本が無
く、自分でどのような文字を使うかを工夫する初めての作品展になりました。とはいうものの「学ぶ」
の語源ともいわれる「真似る（まねる）」であり、書道辞典や他の方の作品の文字を真似て完成させまし
た。しかし、出来たものは少々曲がっていたり、かつメリハリがなく、文字の大小、濃淡、太細等、さ
らに努力と工夫を重ねなければいけないという現実を感じた書道展でした。次の2年後の書道展では、
この課題を少しでも克服し自己評価を上げたいと思っております。

大矢 真弘 記

今回の作品展は、私にとって2回目でした。私は楷書の作品を出展しました。作品展に出展するた
めには練習量を増やす必要が有ります。しかし、第1回目の作品展の時は漢字5文字の半紙を3枚書い
ただけで疲れていましたが、2回目を終わった現在では10枚続けて書けるようになっていました。3回目の
作品展迄には20枚続けて書けるように練習を励みます。

佐武 昇（東久留米三田会）記

2023 年 3 月に書道部に入会し、その年 11 月の作品展に初めて出品しました。今回の作品展への熱意に比べると大分適当に書いていたなあ・・・と今更ながら恥ずかしい気持ちです。2 年後の作品展はオリジナリティのある書を目指して頑張って行こうと意気込んでおります。足を運んで下さった東稲会の皆様、ありがとうございました。

大塚 和恵 記

今回の作品展では、初めて二点の掛け軸を出品できましたことが大変良かったです。

安次嶺 暁 記

私は文字を読む、書くが大好きです。心が落ち着くからです。感動する言葉に出会ったときはすぐ書き留めます。また、自分で言葉を組み立てるのも好きです。

体調を崩していたので諦めようと思っていましたが、何とか出展できて、ハッピーでした。特に、先生が郵送で添削してくださり、感謝しかありません。

前川 初子 記

学校にかよった思い出と同じ様に、書道部の活動にかよい授業をきき、練習をして、楽しい二年間が過ぎました。これから練習を積み上げて、よい年を過ごしたいと思っています。

高田 明子 記

1, 第 13 回作品展感想

「スペース 105 会場」にての 2 度目の開催。新しい仲間 4 人も 2 度目の出展。私も入会して 15 年。熱心さも足りず、当然上達もせず、まったく困ったものです。今回は指導者の平山十方先生の作品が、「日展」に入選された記念の作品展となりました。苦しみながら続けている今日、「継続は力なり」を唯一のよりどころとして、作品づくりを行っています。

「おぬし 禪を しめなおせ」と天から言葉が降って来ました。

渡辺 真司 記

2, 平山十方先生「日展入選祝賀会」

2025 年 11 月 9 日東久留米稲門会書道部の部長であられる平山十方先生の作品が日展に入選され、その祝賀会を書道部員、有志の方で開催致しました。会場には、前書道部長の武藤さんの準備された祝賀の横断幕も飾られました。参加者一人ずつお祝いの言葉をお伝えした後、十方先生のこれまでの数々の挑戦、他流試合、書道界中央での活躍の様子、またご苦勞なされたことなどご披露頂きました。十方先生は、ご自身の出身会社でも書道教室を主宰、たくさんのお弟子さんも日展をはじめとする諸書道展覧会への出品をされている実力派のグループも 指導されています。 そんなお忙しい中、大変な先生にご指導いただいているという思い、感謝の気持ちを新たに、しっかりと精進していかなければならないと身を引き締めているところであります。 ” 十方先生 おめでとうございます そして有難うございます”



渡辺 真司 記

＜囲碁部会＞

現在の部員数は6名となっています。ただしその内1名は 先月から脚が不如意なので暫くお休みとなっています。人間が作成した盤ゲームの中でルールは単純だが変化は複雑、恐らく奥深さは最高位というしろものです。街に碁会所が殆どなくなり 興味のある人も本かTVかネットで覚えるしか方法がなくなっています。稲門会内での勧誘も過去には諦めておりましたが再度興味を持って頂くべく初心者向けに9路盤を用意いたしました。囲碁は地取りゲームなので土地(目数)の取り合いとなります。正規盤は縦横19路ありますから面積的には約4分の1の大きさとなりますが、戦いの全てが詰まっております、しかも勝負が着くのも時間短縮できます。小中学生で興味のある人がいれば無料でお手伝いできますので是非ご紹介をお願いします。

先日、大矢さんから東村山市稲門会と小平市稲門会の囲碁部の責任者を紹介していただきました。私たちと同じ悩みを抱えており、二つ三つと合わせて交流しながら楽しんで行ければと少しは明るい未来も見えるようになってきました。少し覚えれば囲碁ソフトもネットでも無料でランクを選んで遊ぶこともできますし、人間とも対戦できるサイトも多数あります。ボケ防止には 最適だと自分では考えております。因みに ネットの方は「いい囲碁ネット」に入会して無料で国内各地の方と囲碁を楽しんでおります。



中村 敏明 記

部会だより 【今後の予定】

＜ウォーキング & 山歩き部会＞

以下のように予定しておりますが、3月の東稲ニュースにて再度ご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。



第100回「久米川駅から桜のトンネル（多摩湖自転車道路）を歩き小金井公園で花見」

開催日：2026年3月24日（火）

集 合：9時30分 東久留米駅改札口 *雨天中止（桜の咲き状況により3/31に延期もあり）

費 用：交通費と飲食代は自己負担

ルート：東久留米駅 → 久米川駅 10時頃着 → 0.7kmを歩き、多摩湖自転車道路の八坂駅近辺へ

→ 以後、花小金井まで同道路（5km弱）を歩く！！途中は桜のトンネル！！

→ 花小金井から小金井公園へ、公園で桜の散策 → 西武バスで帰路へ

＜ 歩行距離：7-8km程度 2016年4月（第53回）と2022年3月（第84回）に実施済 ＞

担 当：大矢真弘 475-8532 e-mail oyamasahirol130@gmail.com
山口謙二 425-2915 e-mail yiu23466@nifty.com
有賀千歳 090-3107-4367 e-mail info.caruga@ymail.ne.jp

<映画鑑賞会>

次回 2 月 26 日 (木) の映画鑑賞会は「メリー・ポピンズ」1964 年制作のアメリカ映画を上映します。英国作家 P・L・トラヴァースの原作をウォルト・ディズニーが当時としては画期的な技術を駆使し実写+アニメ、ミュージカルファンタジー作品に仕上げました。映画化に当たっては原作者と制作者の世界観の違いからかなり激しい交渉があった様だが興業的には世界中で大ヒットし、アカデミー賞で主演女優賞、編集賞、作曲賞、視覚効果賞、歌曲賞(チム・チム・チェリー)の 5 部門を受賞した。主演のジュリー・アンドリュースは類いまれなる歌唱力でスターダムに乗り「サウンド・オブ・ミュージク」の主演を掴んだ。彼女の歌声の素晴らしさだけでもみる価値があります。ウォルト・ディズニーのエンターテイメントに乗り理屈抜きのファンタジー世界を楽しんで下さい。

(作家と制作者の世界観の違いでの激しい交渉は後に「ウォルト・ディズニーの約束」として映画化された。又「メリー・ポピンズリターンズ」として再映画化したことは、ディズニーの商魂の逞しさとエンターテイメントを追求する企業の凄さを感じました。)

小野 泰右 記

<グルメ部会のご案内>

期日 2026 年 2 月 6 日 (金) 場所 神楽坂 「花かぐら」 参加費 4000 円

開宴 12 時

和食の名店であり、色彩鮮やかな「花かぐら弁当」(ランチ)を頂きます。食前の白ワインで始まり、ビール、その他お酒各種は追加料金で盛り上がること間違いなしです。食後は、デザート、コーヒーで締めとなります。女性に人気があり、ご夫婦揃っての参加に最適です。奮ってのご参加をお待ち致しております。

行程 東久留米駅改札口 10 時 45 分集合 東久留米駅発 11 時 池袋駅着 11 時 24 分 池袋発有楽町線 11 時 31 分 飯田橋駅 11 時 40 分着 B3 出口より徒歩 4 分 花かぐら着

申し込み先 吉田清郎 042-424-8090 hibari_y@ybb.ne.jp

大矢真弘 042-475-8532 oyamasahirol130@gmail.com

東稲広報室

<訃報>

鮎貝 盛和 氏 (s35 理工) 11 月 17 日逝去 享年 89 歳

永年にわたり、太極拳部会長を務められました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

東海 俊孝 氏 (s44 政経) 12 月 16 日逝去 享年 78 歳

稲門会では、9 つの部会で活動されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

<「オペラを楽しむ会」(清瀬稲門会主催)のご案内>

・日時 2026 年 2 月 8 日 (日) 13 時開場 13 時半開演

・場所 清瀬アミューホール 清瀬駅北口徒歩 1 分

・演目 「アイーダ」ヴェルディ (メトロポリタン歌劇場 1989 年)

入場は無料ですが、資料を頂けるので 200 円のカンパをご用意下さい。

山口 謙二 記

<特別投稿>

東海さんへ

同期会有志より

突然の訃報に驚愕しました。東稲に入会後東海さんから 古稀の会（東海発案）に誘われ五人のメンバーに入りました。その後渡辺さんのバドに入会。毎週バド後に近くでの飲み会がスタートしました。古稀メンバー5名はほぼ毎週集合し議論好き酒好きの東海さんとはコロナ禍までの4年間に沖縄（安次峰地元）旅行を含め3回の旅行をしていました。コロナ後バドは続けていますが私が外食は一切封印され（妻の禁止令で）ており。ほぼ毎週のバドでの交流がメインでした。彼は多趣味で東稲では9の部会に属していたようです。お酒も多趣味でTopは日本酒でしたが、ワイン、ビール、酎ハイなど嬉しそに嗜んでおられました。スロースクワットは東海さんに感化され取り入れていました。少しの間まってね！！ 議論を闘わせながら美味しいお酒をまた飲み交わしましょう。

中村 敏明

東海俊孝君

早いナ・寂しいよ・・・

《 酒 》

新人のころ、研修で製鉄所をめぐり、工場の人と死ぬほど飲みまくって鍛えられたと自信満々で話してくれた。東久留米では、コップ山盛りの日本酒をあっという間に飲み干し、あとは睡眠・・・・・・・・・・周りをビックリさせてたな。

《 唄 》

”踊り子” 引き継ぎます。不思議なめぐり逢い。12月16日（火）稲門会冬のカラオケ大会で22時頃、君の好きだった ”歌手 三浦洸一の 踊り子” を歌いますと宣言して歌っていました。君はそこそこ旅立ちでした。今思うと不思議な時の廻りあわせ。

《 ウォーキング 》

毎月のように繰り出すウォーキングコース。練りに練ったコースを熱心に見下ろす。トイレ、飲料水売り場、昼食の場所など綿密に調査の上で会員を案内。皆は大感謝でした。中でも甲州街道の旅。楽しかったなあ。最も印象深いのは旧街道笹子峠越え。笹子峠の最高地点付近のトンネルを通過せず、あえてトンネルの上を超えるルート、道のない急斜面を這いつくばって、爺さん、お嬢さんたちが登って行きました。よくあんなことをしたなと今更ながらビックリ。今は楽しい思い出。有難う。東海俊孝君。さようなら。



渡辺 真司

近所にお住まいでしたので、12月19日のブリッジ部会には一緒に行こうと声を掛け合っていた矢先

の計報でした。まだまだ大丈夫と思っていらっしやったはずです。

16ある東稲会の部会の内「ウォーキング」を主催、正式な部会ではありませんでしたが「旅行」でも同様、そのほか大好きだった「ゴルフ」を初め、「バドミントン」、「ソフトボール」、「コントラクトブリッジ」、「カラオケ」、「ボッチャ」、「グルメ」など沢山の部会に積極的に参加されていました。「女性部会」と80歳以上が対象の「マグカップの会」には不参加已む無しでしたけどね。

東稲会はリタイア後の大きな楽しみ、同期の4人も何かとご一緒させていただく機会に恵まれました。先々動けなくなるまで遊べる大切な仲間でしたので、もうちょっとゆっくりして欲しかったなあ。とは言えこの10年、散歩したあちこちや見学、諸活動など東海さんと過ごした時間は本当に楽しかった。最高の日々でした。ありがとう東海さん。

坂井 淑晃

安次嶺 暁より

東海さん、人生の第四コーナーと一緒に、楽しく過ごさせてもらいました。なかでも、甲州街道行脚の2年、そして、行田市の見沼田んぼを2回も見学、同期を中心とした数回にわたっての温泉旅行、ふるさとを訪ねる会、数え切れない程の思い出残して下さいました。心より御礼申し上げます。

<会員リレーエッセイ> ~噴水広場~

地域コミュニティと学校について

梶井 琢太 (h6 政経)



最近是小中学校のPTA 役員や青少年健全育成協議会役員として学校との関わりが増えており、各校や地域団体では50周年記念行事を経験することも多くなりました。

一方、少子高齢化や共働き世帯の増加等でPTAや青少協を始め、自治会や民生児童委員などは、担い手不足による活動内容の見直しを迫られています。時代の流れとはいえ、地域のつながり

の急速な希薄化は、地域福祉や防災防犯等へ、深刻な影響を与えています。

現在、東久留米市では地域と連携した教育活動を目的としてコミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入を進めています。令和 7 年度にモデル校を設置して以降は、市内各校へ順次展開する予定です。運営協議会は教育関係者だけでなく、自治会を含む地域住民や地域福祉人材、保護者や青少協等も参加し、地域ぐるみで子供の成長を見守ります。

また市は今後、老朽化する学校施設の建て替えを進めるにあたり、周辺の公共施設を複合化することで、ソフト・ハード両面で学校を地域の拠点として更新していく方針です。

地域のつながりが希薄化し担い手も不足する中、地域コミュニティは学校を中心として新たに生まれ変わろうと模索しています。

学校を核とした地域のつながりは地域を活性化する効果が見込まれますが、何よりも、こども達が学びや体験を充実し「ふるさと」として地域への愛着を育むことができます。また保護者も、地域への理解を深め人間関係が構築されることで、地域の中で子育てをする「安心感」を持てるかもしれません。

そもそも保護者の願いは、こどもが二度と戻らない日々を、恵まれた友情の中で勉強やスポーツ、文化芸術等に心ゆくまで打ち込むこと、また何より、多様な個性を持つ「他者」との間で、自身の固有な生を自覚し勇気を持って自ら信じる一步を踏み出すことです。

それはこども達が仲間や先生、親や兄弟、地域住民に支えられてこそ、また他者との関係性においてしか、自己の固有性は発揮し得ない事実を「発見」することでもあります。

こども達はやがて学校や地域を巣立ち、固有の人生を歩みながら、互いに連帯して新たな社会や地域を築いていくことでしょう。そしてこの繰り返す営みそのものが「希望」として地域コミュニティの可能性をも指し示しているように思われます。

編集後記

ネクタイのルーツは？

最近ネクタイをすることが少なくなった。しかし、私としては最もおしゃれな装飾品だと思っています。

ネクタイの発祥地は、東ヨーロッパのクロアチアだと言われている。

一説によると、17 世紀に起きた三十年戦争の際、ルイ 13 世率いるフランス軍に従軍したクロアチア傭兵たちの首に、家族や恋人たちから無事の帰還を祈ってスカーフが巻かれていた。この習慣が、フランスでファッションに採り入れられて流行したそう。

その名称も、「クロアチア人」を意味する単語がなまって、「クラヴァット」と呼んだのが、現在のネクタイの起源になったという。

何かイベントがない限り身につけなくなったネクタイ、これからは今まで以上におしゃれ身に安全を意識して着用したいと思っています。



今回の編集担当：有賀 千歳